



悩める 動物園・水族館

動物園や水族館は、日本人に野生動物に対する好奇心を喚起し続けてきた。現代人の自然観の醸成に大きな貢献を果たし、自然環境や野生動物の保全思想の基盤を作るためにそれなりの役割を果たしてきた。ところが最近、動物園・水族館の苦悩が膨らんでいる。動物に対する福祉の概念が広まるにつれて、野生動物を飼育するのはけしからん、飼うならもっと環境を整えろ、と動物園や水族館が一方向的に非難されることとなった。映像でみればいいという人もいるが、五感が刺激される動物の実体と映像の中の動物とは、まるで違う。野生動物の飼育を否定することで、人間は野生動物との接点まで失うことになるのではないか。人がヒトらしく生きるために動物園も水族館も必要なのでは、どうすればいいのだろうか。

スケジュール

- 9:30 開演
歓迎あいさつ：門川大作（京都市長）
開会あいさつ：幸島司郎（京都大学）
- 9:45 亀崎直樹（岡山理科大学教授）
「水族館・動物園：その社会における重要性の確認？」
- 10:25 村田浩一（よこはま動物園ズーラシア園長／日本大学教授）
「私たちは動物園のために何を残してきたのか？」
- 11:05 勝俣 浩（鴨川シーワールド館長）
「これからの水族館について考える」
- 11:45 本田公夫（Studio Manager, Wildlife Conservation Society）
「動物園・水族館の置かれた現状：欧米と日本の違いとこれからの課題」
- 昼 食 休 憩
- 13:30～14:30 ポスター発表
- 14:30 パネルディスカッション 進行：伊谷原一（京都大学）
「これからの動物園・水族館を考える」
- 16:50 閉会あいさつ：伊谷原一（京都大学）

2019
3/22
(金)

9:00 - 開場
事前申込不要
入場無料

会場
京都市国際交流会館
イベントホールおよび特別会議室

〒606-8536 京都府 京都市左京区粟田口烏居町 2-1



【電車】JR 京都駅→地下鉄丸線「御池駅」→地下鉄東西線「蹴上駅」→徒歩約 6 分

主催 京都大学 野生動物研究センター

共催 京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
JSPS 研究拠点形成事業「大型動物研究を軸とする熱帯多様性保全の国際拠点」
京都市動物園、名古屋市東山動物園、
（公財）横浜緑の協会（よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園）、
熊本市動物園、高知県立のいち動物公園、
（公財）日本モンキーセンター、わんぱくこうちアニマルランド、
愛媛県立とべ動物園、広島市安佐動物公園、
名古屋港水族館、京都水族館、海きらら・九十九島水族館、
神戸市立須磨海浜水族園、海遊館、滋賀県立琵琶湖博物館、
いおワールドかごしま水族館、沖縄美ら海水族館、鴨川シーワールド、
世界淡水魚園水族館アクア・トトギス

後援
京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、
環境省近畿地方環境事務所、（公社）日本動物園水族館協会、
共同利用・共同研究拠点事業
「絶滅の危機に瀕する野生動物（大型哺乳類）の保全に関する研究拠点」

詳細はこちら

🔍 動物園大学 水族館大学



お問い合わせ

京都大学 野生動物研究センター
zoouniversity@wrc.kyoto-u.ac.jp